

9月

にオススメ!



お月見

<献立例>

「お月見給食」

- ・お月見汁
- ・さといもコロツケ
- ・お月見だんご

など



<「お月見の話」あらすじ>

日本では、昔から月を眺める風習「お月見」があります。満月の日に月を眺めると、ウサギが餅つきをしているように見えることがあります。なぜ、月にウサギがいるのでしょうか？

昔々、ある森にキツネとサルとウサギが仲良く暮らしていました。ある日、山で遊んでいた三匹は、木陰でおなかを空かせているおじいさんを見つけました。三匹の動物は、おじいさんのために、食べ物を採りに行きました。キツネは川へ行き、たくさんの魚を捕まえました。サルは木に登って、たくさんの果物を採りました。ウサギは原っぱへ出かけましたが、おじいさんが食べられそうなものは見つけれませんでした。

落ち込んだウサギがおじいさんの元へ戻ると、すでにキツネとサルはおじいさんに食べ物を振る舞っていました。おじいさんのために役に立っていないと悲しく思ったウサギは、おじいさんに自分を食べてもらおうと、たき火の中に飛び込みました。ところが、キツネとサルの目の前には、全くけがをしていないウサギと、ウサギを抱きかかえた光り輝く神様の姿がありました。実は、おじいさんは、天の神様だったのです。神様は、みんながウサギのような優しい心を忘れないようにと、月にウサギの絵を描きました。こうして、月にはウサギの姿が見えるようになりました。